



Q 選手の勝率が本当にわかりません。好きな選手の勝率を見ているのですが、1着を何回も取っているのに勝率があまり上がりません。どうして？

コメントさん(兵庫県)

A 勝率とは着順点の合計を出走回数で割ったものです。着順点は別表の通りで、SGは2点増し、GI・GIIは1点増し、優勝戦は1点増しになります。勝率があまり上がらないように感じるのは、出走回数で割るためです。特に期末といわれる10月や4月はA級であれば100回以上、B級でも70~80回以上走っていることが多く、分母の数が大きいので、大幅な上下動がなくなります。例えば100回走って勝率が6.00の選手がいたとします。その選手が次のレースで1着を取ったとします。その計算式は以下の通りです。

$$(600+10)/(100+1) = 6.04$$

600 = それまでの着順点の合計

10 = 1着の点数

100 = それまでの出走回数

1 = 今回の出走回数

100回も走ると1着を取ってもわずか0.04しか数字が動きません。それでも0.01の差で級別が変わることもあるため、微差でもその動向は気にしたいところです。

●着順点

着順	1着	2着	3着	4着	5着	6着
予選~準優勝戦	10点	8点	6点	4点	2点	1点
優勝戦	11点	9点	7点	6点	4点	3点

$$\frac{\text{着順点の合計}}{\text{出走回数}} = \text{勝率}$$

Q 近年、賞金がコロコロ変わるので今の賞金が把握できません。各レースの優勝賞金をまとめてもらえませんか。

ラッキープール(三重県)

A 各レースの優勝賞金は表の通りです。

Q ボートレースではフライング返還がありますが、1レースあたり数千円などは当たり前です。そこで1日あたりではなく、1年間でどれほどの返還があったのか教えてください。

Angel83(東京都)

A 2023年度(23年4月~24年3月)は311億5299万300円が返還されました。発売額は2兆4531億6543万700円だったので、全体の1.27%が返還されたこととなります。さらに遡ると2022年度は327億1789万6700円、2021年度は348億9026万2600円でした。

グレード	タイトル	優勝賞金
SG	グランプリ	1億1000万円
	クラシック、オールスター、メモリアル、ダービー	4200万円
	グランドチャンピオン、オーシャンカップ、チャレンジカップ	3600万円
	グランプリシリーズ	2000万円
PG I	クイーンズクライマックス	1700万円
	BBCトーナメント、マスターズチャンピオン、レディースチャンピオン、ヤングダービー、スピードクイーンメモリアル	1300万円
GI	周年記念	1200万円
	高松宮記念、ダイヤモンドカップ	1100万円
GII	地区選手権	630万円
	全国ボートレース甲子園	500万円
	秩父宮妃記念杯、モーターボート誕生祭、モーターボート大賞、レディースオールスター、レディースチャレンジカップ	490万円
GIII	クイーンズクライマックスシリーズ	220万円
	イースタンヤング、ウエスタンヤング	215万円
	オールレディース、マスターズリーグ、企業杯	120万円
一般	一般3大競走(正月、GW、お盆)	168万円
	ボートレースバトルトーナメント	158万円
	一般競走(2号場)	100万円
	一般競走(1号場)	80万円
2号場	桐生、平和島、多摩川、蒲郡、三国、住之江、丸亀、徳山、下関、若松、戸屋、大村	100万円
1号場	戸田、江戸川、浜名湖、常滑、津、びわこ、尼崎、鳴門、兒島、宮島、福岡、唐津	80万円